

一粒の麦 場面七

険しい道のり

吟子は俵瀬の
そして、「この先
さまざまな瞬間が



水場にしゃがみこんだ。
私はどうしたらいいの」
吟子の脳裏に蘇った。

吟子は 1882(明治 15) 年 6 月、東京府に医術開業試験の願書を提出しましたが、8 月に却下されました。翌 16 年、再び願書を提出しますがこれも却下、9 月に今度は埼玉県に提出しますが却下、内務省にも提出しますが、これも却下されたのです。こうした苦境の中でも吟子はあきらめず、各地の医師の助手について実地の腕も磨いていましたが、進退は窮まっていた。



1882(明治 15) 年、吟子は石黒忠恵のもとを訪れ助けを求めます。石黒は、内務省衛生局長の長与専斎に面会して「受けさせて及第すれば開業させるべきではないか」とかけあいました。そして、吟子に長与と会うための紹介状を渡し、ようやく女性の受験が認められ、1885(明治 18) 年、医術開業試験に合格、日本最初の女性医師が誕生しました。



▶ 長与専斎と吟子

資料提供 (株)現代ぷろだくしょん
写真提供 (株)トライストーン・エンタテイメント

引用元 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook / Imgrum#荻野吟子photos&videos
若村麻由美 mayumi wakamura official

パネルその五

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

一粒の麦 場面八

不屈の請願



塙保己一が復元した法律解釈書「令義解」の中に
古代にも女性が医術に関わっていたことが
記されていることを見つけ、訴えました。